

2006 年度第 2 回社会的諸問題検討委員会議事録

日時; 2006.9.25

場所; 京都センチュリーホテル

出席者: 織井優佳、増井 徹、松井健志、丸山英二、玉腰暁子

議事内容

4 サイト(名古屋市立大学、徳島大学、千葉県がんセンター、名古屋大学)の研究計画について検討した。

全体について

雛形の同意書(5)の記載では引越しや死亡が明らかになった時点で住民票を閲覧するように読めるが、住民票を定期的に見ることで事件発生を把握するのではないか。実態に即した記載に変更した方がよい(前回の運営委員会で同意書雛形修正の話があったので、同時に検討していただきたい)。

社会的諸問題検討委員会は内部の委員会として、研究が適切に進められるよう意見を述べているつもりである。そのことを理解していただくような働きかけを主任研究者、中央事務局、運営委員会にお願いしたい。また、形式的になることを避け、必要な手順を踏んでほしい。

指摘事項が生きるようにしてほしい。諸々の事情から指摘と別の方法をとることはあると思うが、その背景や状況の説明等をいただけるとよいと考える。

中央事務局のモニタリングは 10 月で調整し、その後、今までのモニタリングについてのまとめを出したい。